



学校関係者 評価

令和5年2月

和光市立広沢小学校

評価結果の見方

今回のアンケート結果は、ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析結果を活用しています。

アンケート概要

- 【実施日】 R5.1.30～R5.2.4
- 【対象者】 学校運営協議会委員
- 【実施人数】 8名
- 【実施率】 66.7%

【質問項目】

実際の質問内容です。

【グラフ表示】


円グラフ：アンケート結果

※選択肢を選んだ割合

折れ線グラフ：経年変化

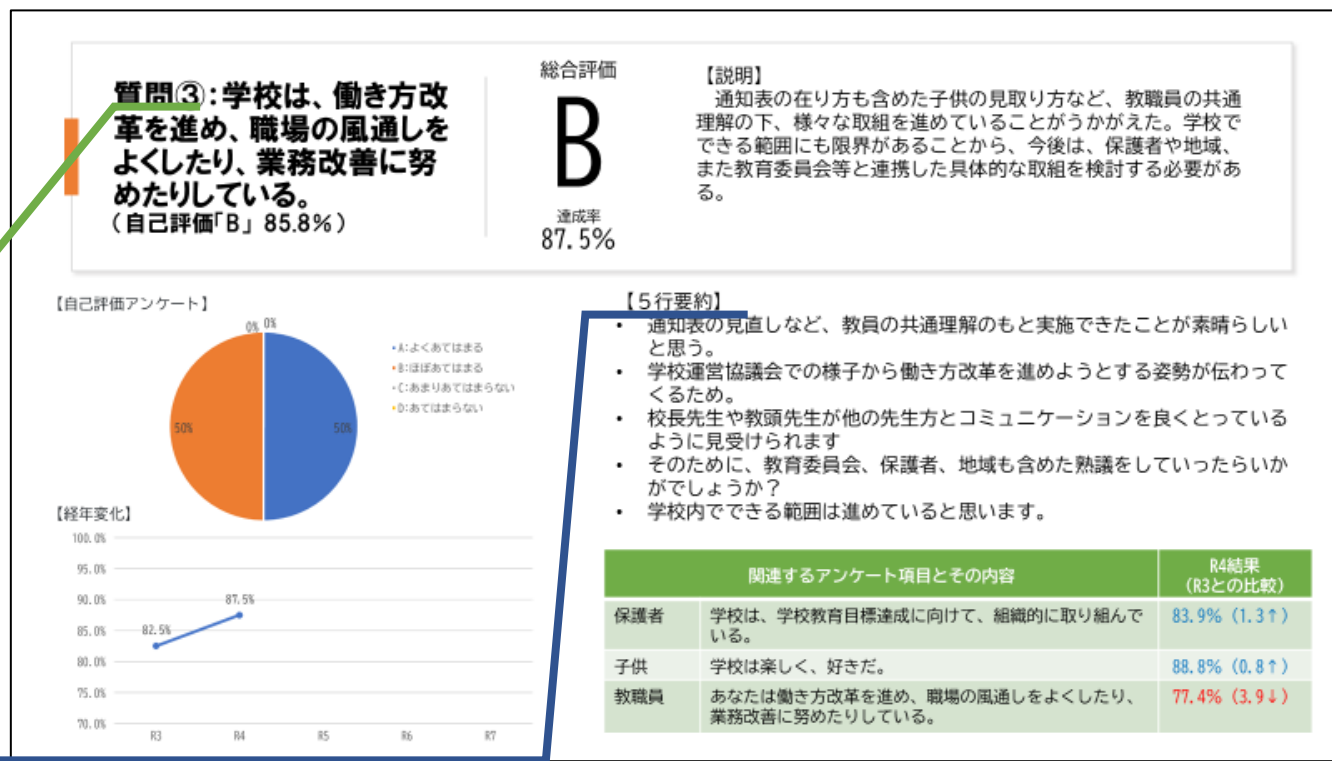
※達成率（4つの尺度をそれぞれ4～1点で点数化し、その合計点を満点（148点＝37人×4点）で割った数値）を前年度までのものと比較したもの

【5行要約】（または記述全文）

 User Local AIテキストマイニング で自動的に要約されたものです。

【総合評価】

達成率等の結果から、今年度の取組についてA～Cで評価しています。（赤は前年度より良くなったもの、青は前年度より下がったもの）



【参考アンケート一覧】 保護者アンケート、子供アンケート、教職員自分アンケートにおける関連アンケート結果を参考として示しています。

質問①:学校は、学校教育目標達成(目指す児童像・学校像)に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。(自己評価「B」 85.1%)

総合評価

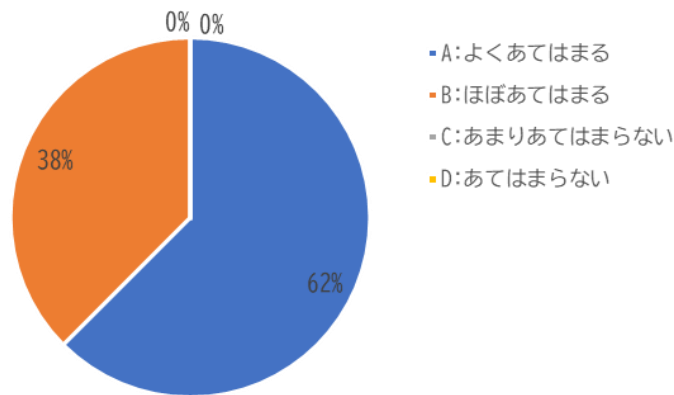
B

達成率
90.6%

【説明】

前年度とほぼ同水準であるにとらえる。ポストコロナを念頭に、今年度から新たな学校教育目標に基づく学校づくりがスタートした。目標の具現化に向け、具体策をどのように構築・実践していくかを今後さらに模索していくことに期待する。

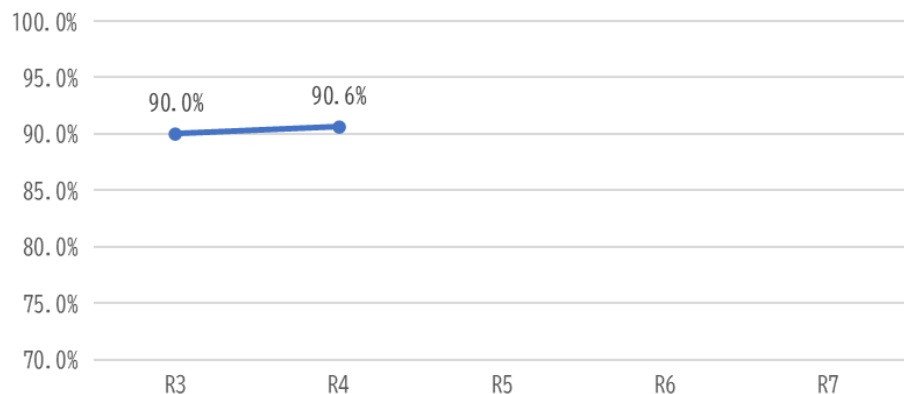
【自己評価アンケート】



【5行要約】

- ・ 熟議ミーティングなどを先生たちがチームをつくって全体で取り組んでいるから
- ・ 全職員の取り組みはみえないです。
- ・ 表面上の判断となります。
- ・ 接点がふえれば良いと思います。
- ・ 校長先生、教頭先生をはじめとして、広沢小学校をこうしていきたいということが分かりやすく示されていると思います

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、学校教育目標達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	83.9% (1.3↑)
子供	学校は楽しく、好きだ。	88.8% (0.8↑)
教職員	あなたは、学校教育目標達成(目指す児童像・学校像)に向けて、組織の一員として取り組んでいる。	77.4% (3.9↓)

質問②:学校は、校務分掌において機能的に役割を分担するとともに、打ち合わせや会議等が円滑に行われるような体制づくりに努めている。
(自己評価「C」 77.0%)

総合評価

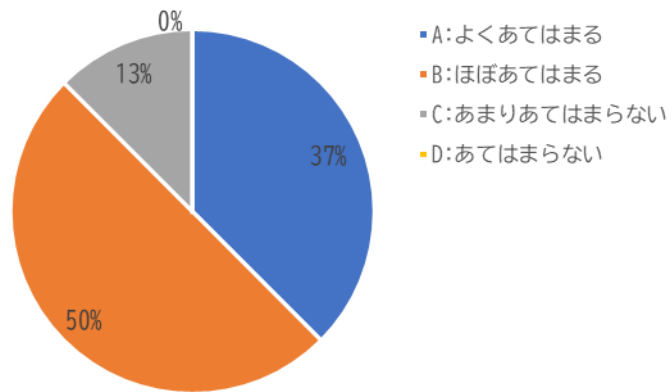
C

達成率
81.3%

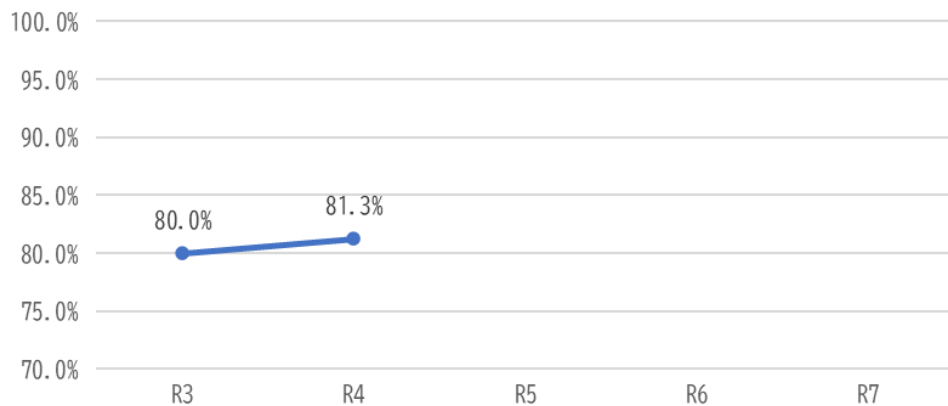
【説明】

自己評価の数値は下がっている。自己評価の記述から、負担の偏りがあつたり、分掌によって活動の様子に違いがあつたりすることがうかがえた。一方、新たな学校教育部など、必要な校務分掌をつくるなど、改善に向けて動き出していることもうかがえることから、次年度の在り方について期待したい。

【自己評価アンケート】



【経年変化】



【5行要約】

- ・ 会議など、傍聴できればと思いますが現実的ではないですね・・・
- ・ 先生方がこれに関われる余白をもっと生み出すことが必要ではないでしょうか。
- ・ 新しい主任に交代したら、前主任が補佐するとか、工夫できることを考えてみる。
- ・ 熟議ミーティングなどを先生たちがチームをつくって全体で取り組んでいるから
- ・ 先生方の評価は下がったようですが、(新たな学校教育部)などを設けたり工夫を感じている。

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、学校教育目標達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	83.9% (1.3↑)
子供	学校は楽しく、好きだ。	88.8% (0.8↑)
教職員	あなたは、学校教育目標達成(目指す児童像・学校像)に向けて、組織の一員として取り組んでいる。	77.4% (3.9↓)

質問③:学校は、働き方改革を進め、職場の風通しをよくしたり、業務改善に努めたりしている。

(自己評価「B」 85.8%)

総合評価

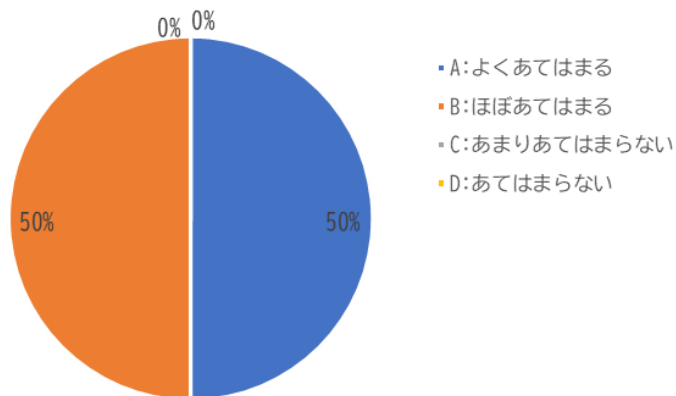
B

達成率
87.5%

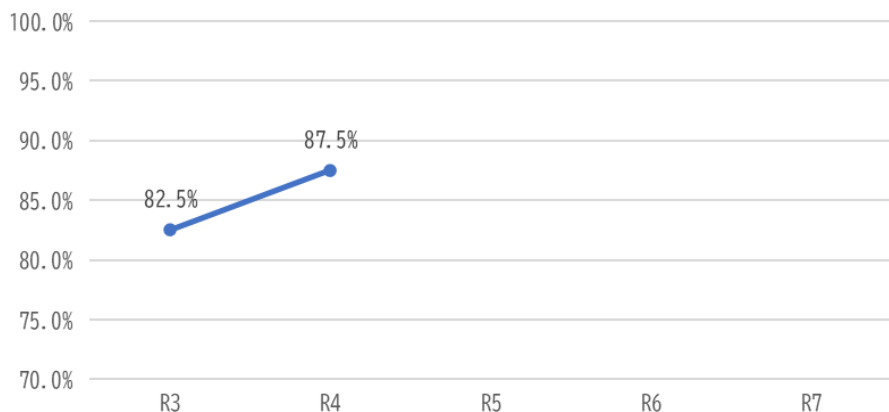
【説明】

通知表の在り方も含めた子供の見取り方など、教職員の共通理解の下、様々な取組を進めていることがうかがえた。学校でできる範囲にも限界があることから、今後は、保護者や地域、また教育委員会等と連携した具体的な取組を検討する必要がある。

【自己評価アンケート】



【経年変化】



【5行要約】

- 通知表の見直しなど、教員の共通理解のもと実施できたことが素晴らしいと思う。
- 学校運営協議会での様子から働き方改革を進めようとする姿勢が伝わってくるため。
- 校長先生や教頭先生が他の先生方とコミュニケーションを良くとっているように見受けられます
- そのために、教育委員会、保護者、地域も含めた熟議をやっていったらいかがでしょうか？
- 学校内でできる範囲は進めていると思います。

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、学校教育目標達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	83.9% (1.3↑)
子供	学校は楽しく、好きだ。	88.8% (0.8↑)
教職員	あなたは働き方改革を進め、職場の風通しをよくしたり、業務改善に努めたりしている。	77.4% (3.9↓)

質問④：学校は、教職員一人一人に教育公務員としての自覚と誇りを持たせ、互いに連携・協力しながら事故防止に努められる環境づくりをしている。(自己評価「B」 87.2%)

総合評価

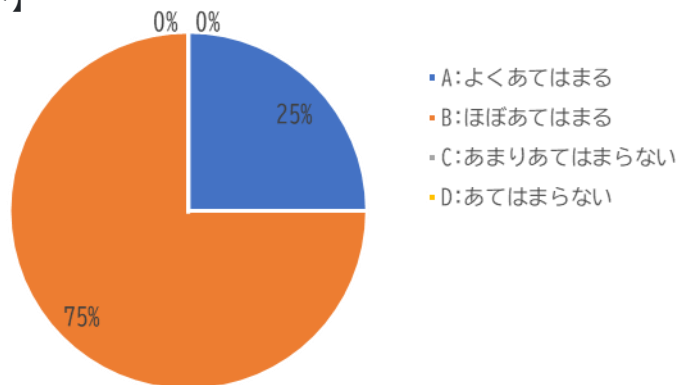
B

達成率
81.3%

【説明】

質問②と同様、なかなか見えにくいところだが、アンケートの結果等から、取組を進めている様子がうかがえる。人によって考え方の違いがある中、共通して確認することを精査するなど、継続した取組が必要である。

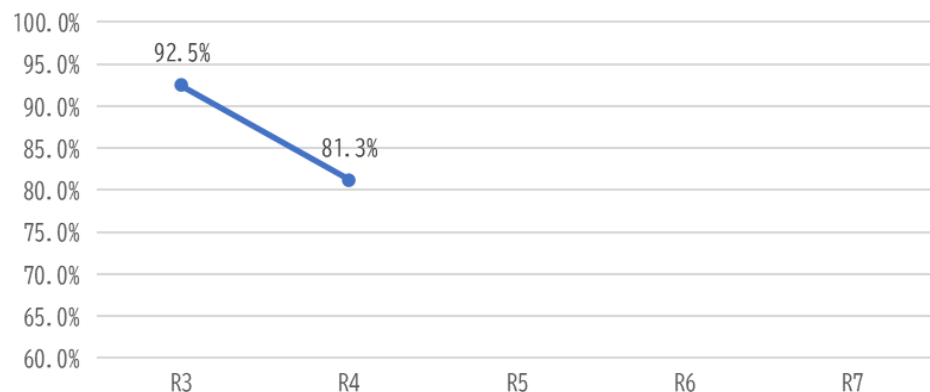
【自己評価アンケート】



【記述全文】

- アンケート結果から
- よくわかりません。
- 努めていると思うが、個人の志には差がある教員もいると思う

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、学校教育目標達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	83.9% (1.3↑)
子供	学校は楽しく、好きだ。	88.8% (0.8↑)
教職員	あなたは働き方改革を進め、職場の風通しをよくしたり、業務改善に努めたりしている。	77.4% (3.9↓)

質問⑤: 学校は、安全に配慮し、危機管理体制を整えている。(自己評価「B」 87.8%)

総合評価

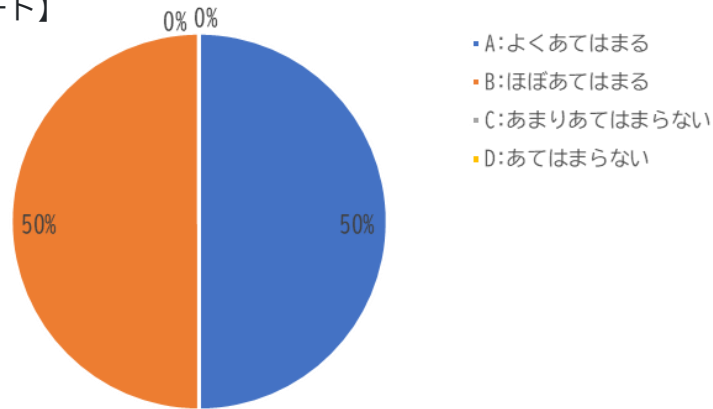
B

達成率
87.5%

【説明】

施設・設備面では、校門の自由開閉など、防犯面での不安が大きいことが保護者アンケートから分かった。学校はさくら連絡網を通じて、防犯情報の提供に努めている。今後、保護者、地域でどのように危機管理の意識を高めていくか、検討していく必要がある。

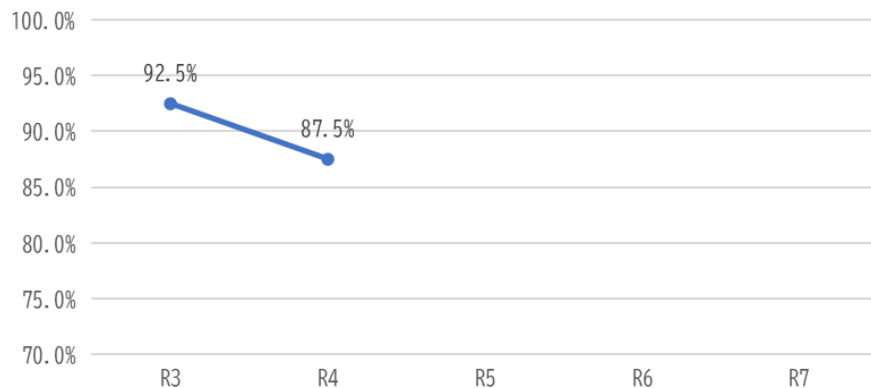
【自己評価アンケート】



【記述全文】

- さくら連絡網で不審者情報の呼びかけが時々ありますが、『またか』と思わず、常に危機ととらえることが大切だと自戒をこめて感じている。マンネリ化せず、学校からの必要な呼びかけ等も続けてほしい。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は事件・事故等から子供たちを守るため、施設・設備の整備や子供たちへの指導、非常時対応の訓練などを実施し、安全・安心に配慮した体制を整えている。	82.8% (3.8↑)
子供	普段から交通ルールを守ったり、不審な人に注意したりするなど、自分の安全には気を付けている。	93.4% (3.2↑)
教職員	あなたは、事件・事故等から子供たちを守るため、施設・設備の整備や子供たちへの交通安全指導などを行っている。	75.8% (5.5↓)

質問⑥：学校は、地震や火災などを想定した訓練を計画的に実施し、効果的な防災教育を行っている。
 (自己評価「B」 86.5%)

総合評価

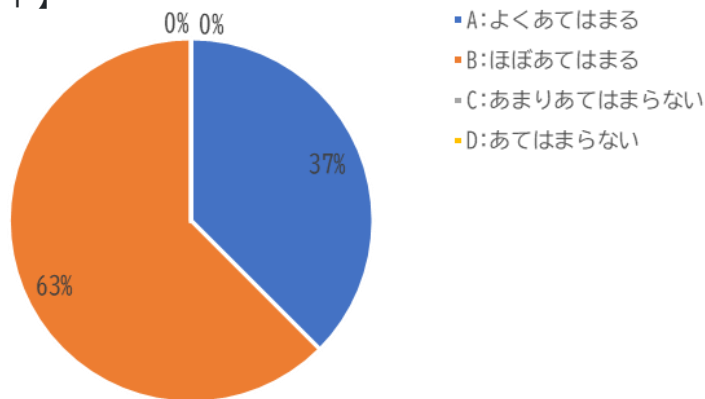
B

達成率
84.4%

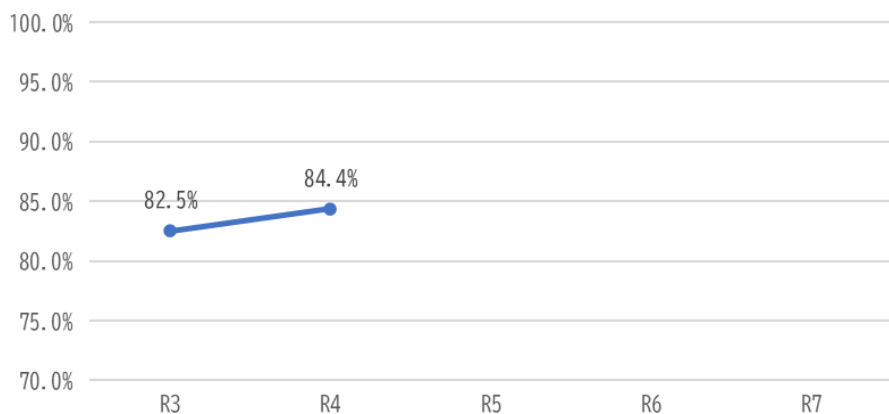
【説明】

様々な災害を想定した避難訓練を行っていることが伺える。いつどこで起こるかわからないことから、今後も突然起こる災害を想定した訓練等は必要である。また、学校は非難の拠点となることから、その対応等に関する想定も必要。保護者や地域を巻き込んだ訓練等も、ポストコロナを念頭に検討していくべきである。

【自己評価アンケート】



【経年変化】



【記述全文】

- ・ 広沢小は通学班がないので登下校中の災害時の行動、避難を徹底しておく必要を感じる。
- ・ 校庭の様子から様々な時間、シチュエーションで行われているのがわかるため。
- ・ 地域の各種団体と連携して地域全体として防災に取り組めるとよいと思います

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は事件・事故等から子供たちを守るため、施設・設備の整備や子供たちへの指導、非常時対応の訓練などを実施し、安全・安心に配慮した体制を整えている。	82.8% (3.8↑)
子供	普段から交通ルールを守ったり、不審な人に注意したりするなど、自分の安全には気を付けている。	93.4% (3.2↑)
教職員	あなたは、事件・事故等から子供たちを守るため、施設・設備の整備や子供たちへの交通安全指導などを行っている。	75.8% (5.5↓)

質問⑦：学校は、コミュニティ・スクールとして、家庭での教育や地域の教育資源等を教育活動に生かすなど、保護者や地域と連携した学校運営を推進している。
 (自己評価「B」83.8%)

総合評価

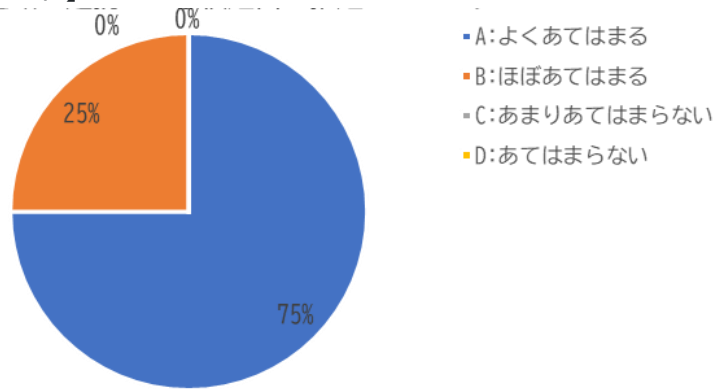
A

達成率
93.8%

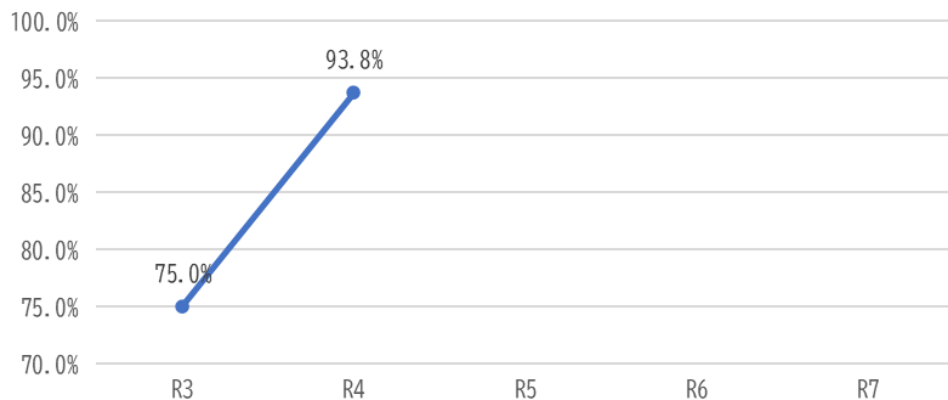
【説明】

道半ばではあるが、コミュニティ・スクールとしての取組を進めていることは伺える。今後は、コミュニティ・スクールとして検討された学校づくりの内容を具現化し、実践できるようにしていくことが必要。

【自己評価アンケート】



【経年変化】



【5行要約】

- 熟議に全教職員が参加しているし、活かす取り組みをしていると思います。
- ICTを活用して情報共有をしている
- ただ、熟議で出てきた内容をアクションに移すプロセスが弱いと感じています。
- これを継続させたい。
- まだ始まったばかりではあるが、地域が関わる学校運営がここ2年くらいで進んだ印象がある。

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、コミュニティ・スクールとして、家庭での教育や地域の教育資源等を教育活動に生かすなど、保護者や地域と連携した学校運営を推進している。	80.4% (1.7↓)
教職員	あなたは、コミュニティ・スクールの職員として、家庭での教育や地域の教育資源等を教育活動に生かすなど、保護者や地域と連携した学校運営に寄与している。	66.9% (4.4↓)

質問⑧：学校は、「社会に開かれた教育課程」を志向し、家庭や地域と学校教育の目標や内容を共有している。（自己評価「B」 83.1%）

総合評価

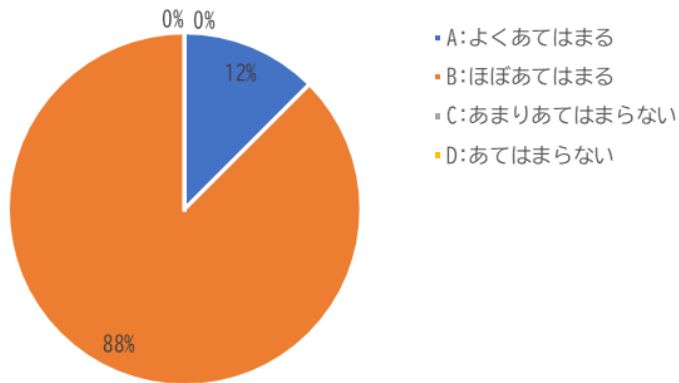
C

達成率
78.1%

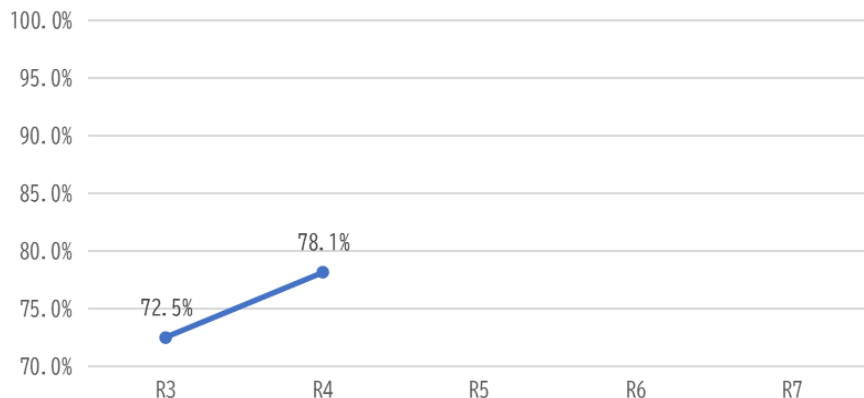
【説明】

かわら版等、学校発信のたより等は、一定の効果があるが、保護者、地域と目標や内容を共有するためには、さらなる取り組みが必要となると思われる。どのようにしていくかも含め、次年度の課題・検討材料としたい。

【自己評価アンケート】



【経年変化】



【記述全文】

- 校長先生のかかわら版によるところも大きいと思う。
- 「社会に開かれた教育課程」とするには、子どもがどうあって欲しいか、そのために何をどう学ぶか、を共有することが大切です。これを考えるための熟議や対話の機会がもっと増えたらよいと思います。
- ※質問⑦の理由と同様。

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、コミュニティ・スクールとして、家庭での教育や地域の教育資源等を教育活動に生かすなど、保護者や地域と連携した学校運営を推進している。	80.4% (1.7↓)
教職員	あなたは、コミュニティ・スクールの職員として、家庭での教育や地域の教育資源等を教育活動に生かすなど、保護者や地域と連携した学校運営に寄与している。	66.9% (4.4↓)

質問⑨：児童は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。
 (自己評価「B」 84.5%)

総合評価

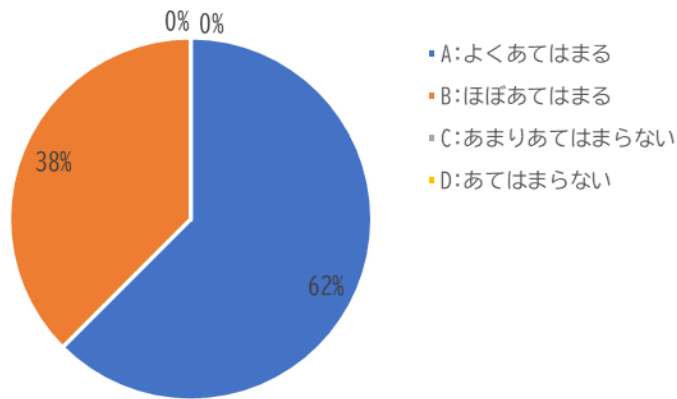
B

達成率
90.6%

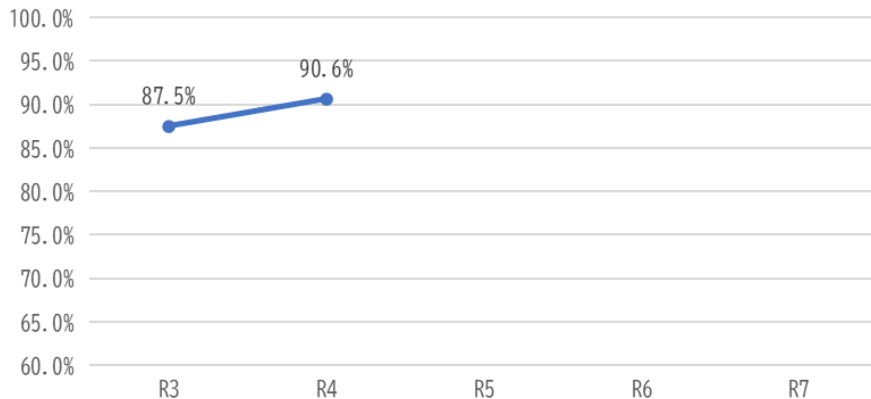
【説明】

アンケート等の結果から、学校全体の取組について、一定の評価ができる。一方で、教員の指導力には差があることから、その差をどう埋めていくか、さらなる学校としての取組を検討すべきである。

【自己評価アンケート】



【経年変化】



【記述全文】

- アンケート結果から
- 子どもたちや保護者の関連項目への評価が昨年よりもアップしているので、功を奏しているのだと思います。
- 放課後残って学習を見ていただいたり、子どもたちのノートを見ると先生方の熱意が伝わってきます
- 教員の指導力に差があるのでなんとも言えません

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、授業を改善したり指導法を工夫したりするなど、子供たちに確かな学力が身に付くよう努めている。	85.3% (3.4↑)
子供	授業は楽しく、分かりやすい。	90.3% (5.5↑)
教職員	子供たちは、あなたの指導により、基礎学力を身に付けている。	78.4% (6.5↑)

**質問⑩:学校は、学力向上
(主体的・対話的で深い学び
の実現等)を目指し、児童の
実態に基づいて授業改善に
努めている。
(自己評価「B」 86.5%)**

総合評価

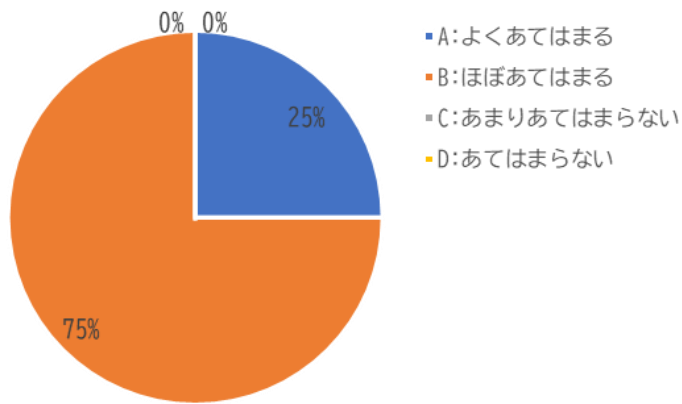
B

達成率
81.3%

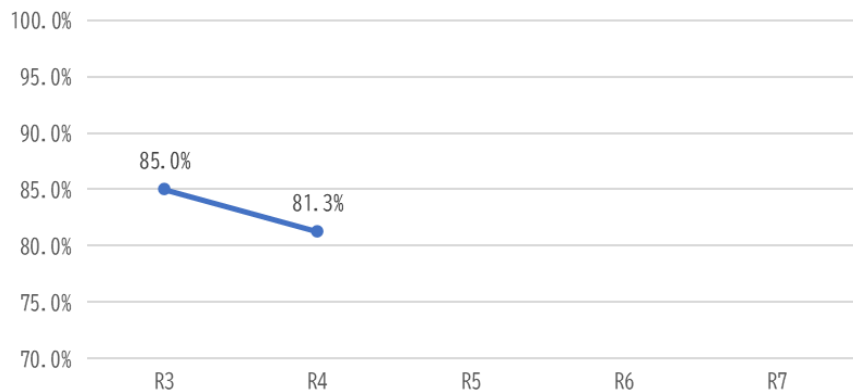
【説明】

授業参観等で、指導や学習の様子を確認できるようになったことは、とても良いことである。その中で、子供たちの主体性を重視し、他者との対話による学習展開が進められていることもうかがえた。今後は、PBL (Project Based Learning) など、探求型学習の導入等を検討するなど、さらなるアクティブ・ラーニングの展開に期待したい。

【自己評価アンケート】



【経年変化】



【記述全文】

- 公開授業参観させていただいたときも感じましたが、主体的 対話的授業の工夫も見られ、子どもたちが生き生きと学習に取り組んでいた。
- 授業改善に努めていると思います。さらに、PBLや探求型学習の導入を進めていただけたら良いと感じます。
- コロナ禍では出来なかった授業参観が復活し、授業を見れるようになり、こうした取組を意識して授業が行われていることを再確認出来た。

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、授業を改善したり指導法を工夫したりするなど、子供たちに確かな学力が身に付くよう努めている。	85.3% (3.4↑)
子供	授業にはやる気をもって臨み、友だちと協力しながら学んでいる。	89.0% (2.7↑)
教職員	あなたは、学力向上（主体的・対話的で深い学びの実現等）を目指し、子供たちの実態に基づいて授業改善に努めている。	81.8% (5.3↑)

質問⑪:学校は、外国語等の学習やICTの活用など、これからの時代に必要な学力の育成に力を入れている。(自己評価「B」 88.5%)

総合評価

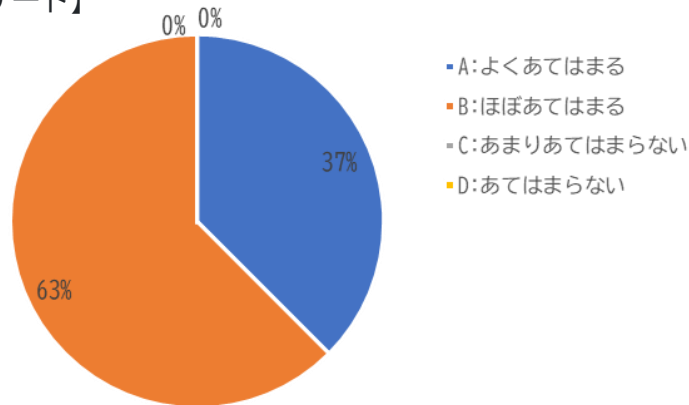
B

達成率
84.4%

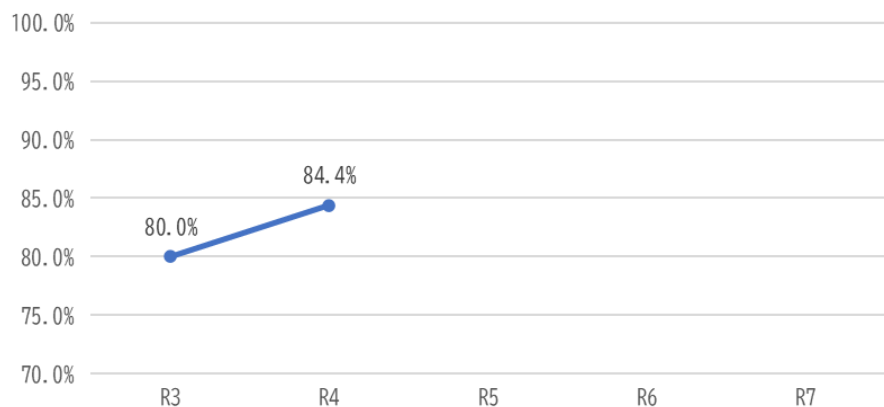
【説明】

タブレット端末の活用が進められていることが、子供のアンケート結果から伺える。今後も継続した取組をしてほしい。各学年等での取組に加え、タブレットの取り扱いなどについてもさらなる検討・改善が必要。保管や家庭での使用について、改めて確認してほしい。

【自己評価アンケート】



【経年変化】



【5行要約】

- ⇒Society5.0時代を生きる子供たちのために！！
- ICTの活用は推進してほしいと願うが、「タブレットはいつ使うか？」を児童に明示し、不要な日は自宅においておけるようにする等、児童の持ち物が重くなることのないようにすべきである。
- 子どものアンケート結果からタブレットの積極的な学習への活用がわかったから。
- 他の小学校では月に一度午後の授業は全員タブレットで行う取り組みもあるようです。
- 各学年で頑張っていると思います

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、授業を改善したり指導法を工夫したりするなど、子供たちに確かな学力が身に付くよう努めている。	85.3% (3.4↑)
子供	タブレットを積極的に使って勉強している。	89.7% (16.2↑)
教職員	あなたは、外国語等の学習やICTの活用など、これからの時代に必要な学力の育成に力を入れている。	70.5% (4.5↓)

質問⑫:学校は、児童の実態や日々の実践、学力調査等を基に、カリキュラムマネジメントを確立し、よりよい教育課程の編成に努めている。(自己評価「B」 83.1%)

総合評価

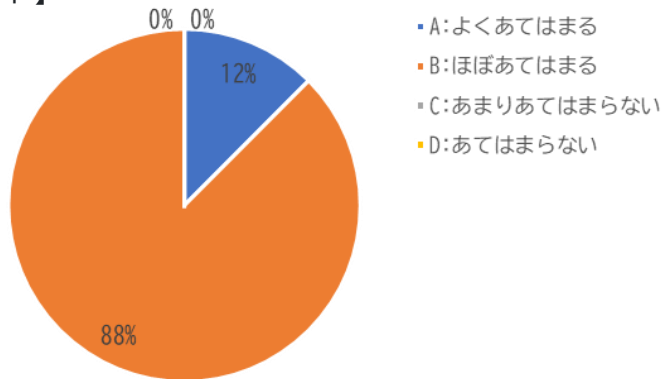
C

達成率
78.1%

【説明】

ICT活用では、各教科等を超えた取組が進められている。今後子供たちの資質・能力ベースでカリキュラムをマネジメントするなど、教科横断的なマネジメントを進めてほしい。

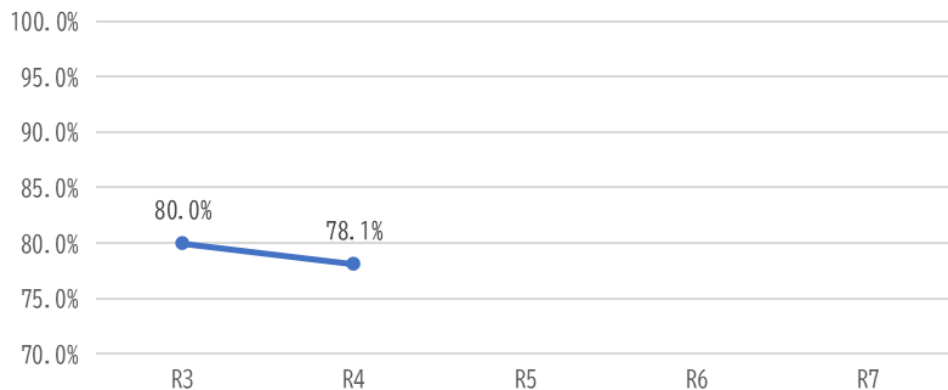
【自己評価アンケート】



【記述全文】

- より充実させてほしい。
- いろいろ取り組まれていると思いますが、さらに教科横断的なマネジメントを考えていただけたら良いと感じます。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、授業を改善したり指導法を工夫したりするなど、子供たちに確かな学力が身に付くよう努めている。	85.3% (3.4↑)
子供	タブレットを積極的に使って勉強している。	89.7% (16.2↑)
教職員	あなたは、子供たちの実態や日々の実践、学力調査等を基に、カリキュラムマネジメントを確立し、よりよい教育課程の編成に努めている。	77.3% (5.9↑)

質問⑬:学校は、児童が学習ルールを理解するなど、学習規律の確立を図っている。(自己評価「B」 89.9%)

総合評価

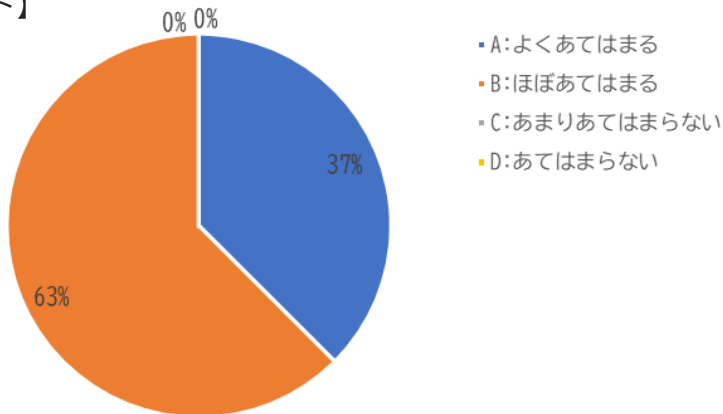
B

達成率
84.4%

【説明】

学校として共通理解を通じた取り組みが進められているものと考えられる。今後も子供たちの様子をとらえながら、継続した取組に期待する。

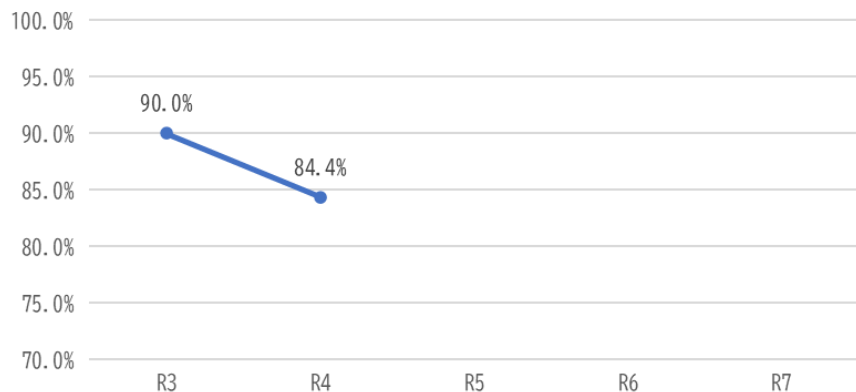
【自己評価アンケート】



【記述全文】

- 学校としての学習ルールがしっかり確立し、教職員が共通理解して指導にあたっていると感じるから。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、授業を改善したり指導法を工夫したりするなど、子供たちに確かな学力が身に付くよう努めている。	85.3% (3.4↑)
子供	タブレットを積極的に使って勉強している。	89.7% (16.2↑)
教職員	あなたは、子供たちが学習ルールを理解するなど、学習規律の確立を図っている。	79.5% (13.2↑)

質問⑭：学校は、児童一人一人に寄り添い、いじめや暴力等を見逃すことなく、共通理解のもとに指導している。（自己評価「A」 91.9%）

総合評価

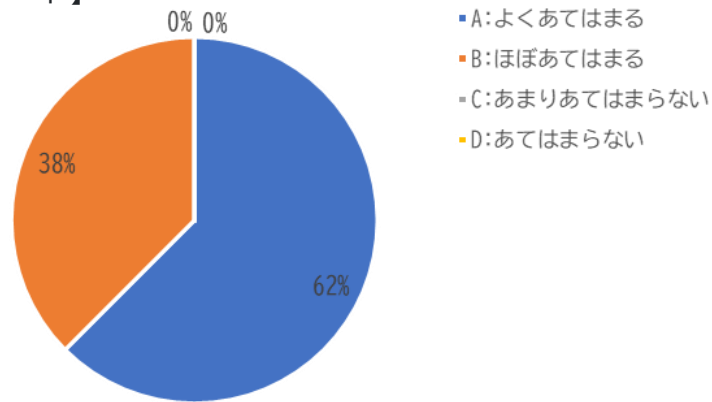
A

達成率
90.6%

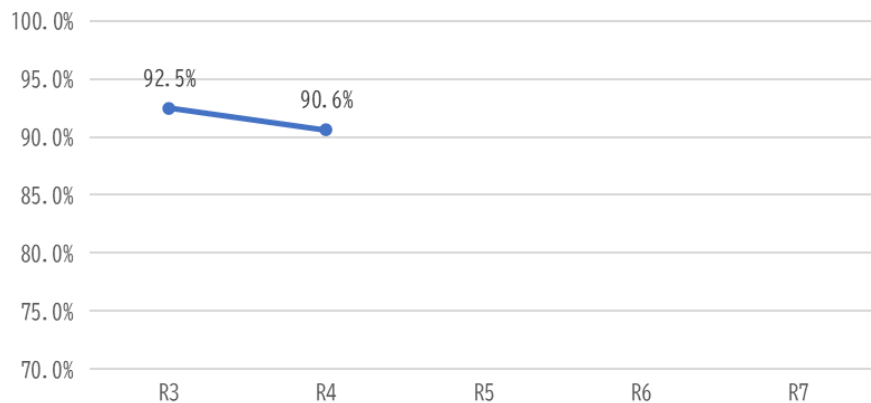
【説明】

特にいじめ防止対策など、子供たちを守る視点での取組への意識は高く、継続した取組が行われていることが伺える。今後も高い意識を継続し、子供たちに寄り添い、子供たちを守ってほしい。

【自己評価アンケート】



【経年変化】



【記述全文】

- アンケート結果から職員室での話し合いを通じて共通理解をはかっているのがわかる。

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は子供たちのいじめや不登校の防止、規律ある態度の育成等、豊かな心の育成に努めている。	81.3% (2.2↑)
子供	相手の気持ちを考え、人の嫌がることはしない（言わない）ようにしている。	88.0% (4.2↑)
	⑦悩んだり困ったことがあったりしても、先生に相談できる。	81.1% (5.8↑)
教職員	あなたは、例えばいじめの問題があったときに、すぐに話を聞いて対応するなど、いじめや暴力等を見逃すことなく、共通理解のもとに指導している。	85.3% (2.2↓)

質問⑮：学校は、児童の実態把握に基づき、規律ある指導の工夫・改善に努めている。（自己評価「B」

総合評価

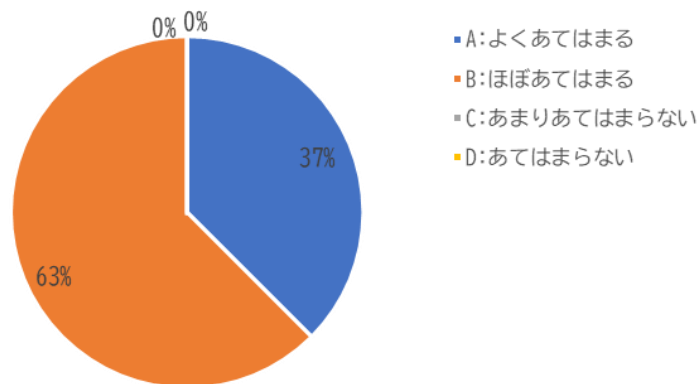
B

達成率
84.4%

【説明】

各種アンケート結果からその様子は伺えるが、具体的な様子等がまだ見えにくい。指導の工夫・改善等について、保護者・地域に発信していくなどの取組を検討してほしい。

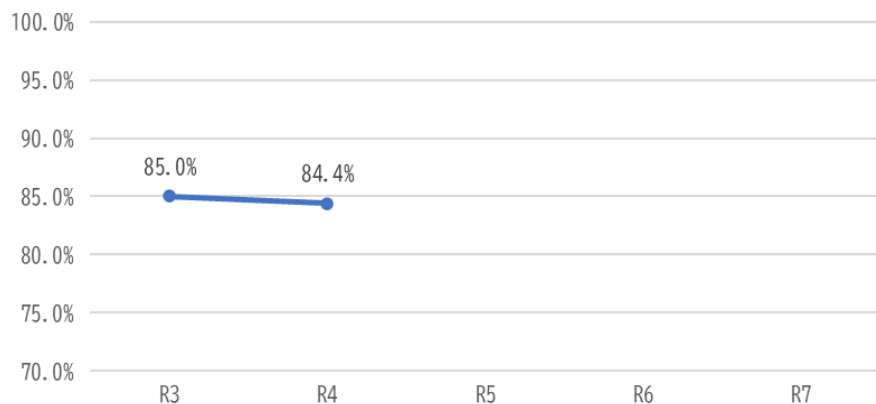
【自己評価アンケート】



【記述全文】

- ・ アンケート結果から。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は子供たちのいじめや不登校の防止、規律ある態度の育成等、豊かな心の育成に努めている。	81.3% (2.2↑)
子供	⑧「時刻を守る」や「進んであいさつや返事をする」など、規律ある態度はできている。	86.1% (7.9↑)
教職員	あなたは児童生徒の実態把握に基づき、規律ある指導の工夫・改善に努めている。	83.0% (0.2↑)

質問⑩：児童は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた規律ある態度を身に付けている。
 (自己評価「B」 85.8%)

総合評価

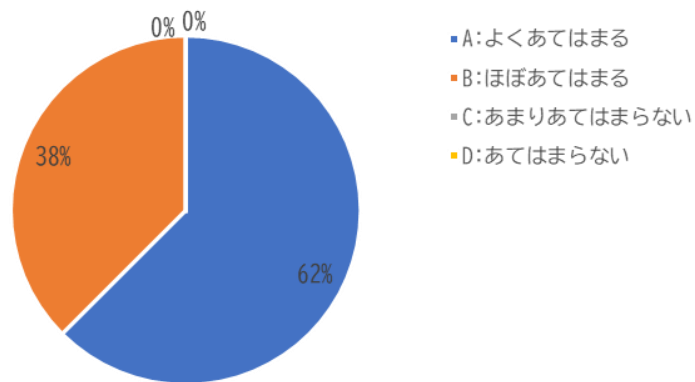
B

達成率
90.6%

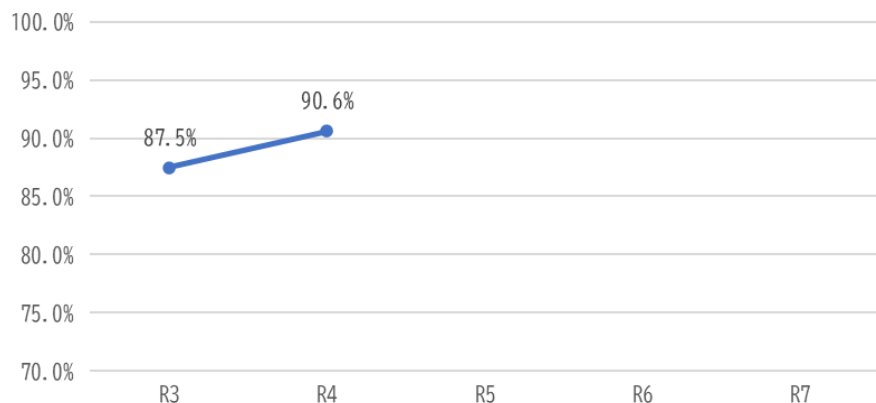
【説明】

発達段階等に応じた取組を通して、子供たちは成長していく。子供の実態を常に捉えるとともに、社会における動向等を把握し、何のために、どのような指導・支援をしていくのか、今後とも検討し、取り組んでいってほしい。

【自己評価アンケート】



【経年変化】



【記述全文】

- 各学年、発達段階に応じた指導が継続して積み重なっていくから、最終的に自覚をもった高学年になるのだと考える。広沢小らしく、広い心でさわやかに継続していってほしい。

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は子供たちのいじめや不登校の防止、規律ある態度の育成等、豊かな心の育成に努めている。	81.3% (2.2↑)
子供	⑧「時刻を守る」や「進んであいさつや返事をする」など、規律ある態度はできている。	86.1% (7.9↑)
教職員	あなたは児童生徒の実態把握に基づき、規律ある指導の工夫・改善に努めている。	83.0% (0.2↑)

質問⑰：児童は、体育の授業や外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。 (自己評価「B」 89.2%)

総合評価

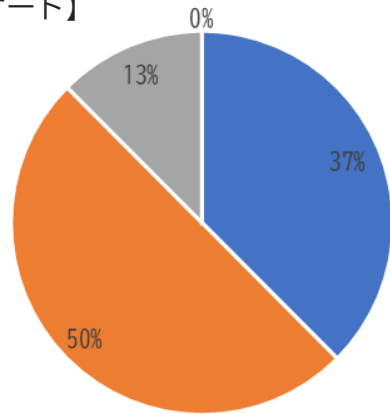
B

達成率
81.3%

【説明】

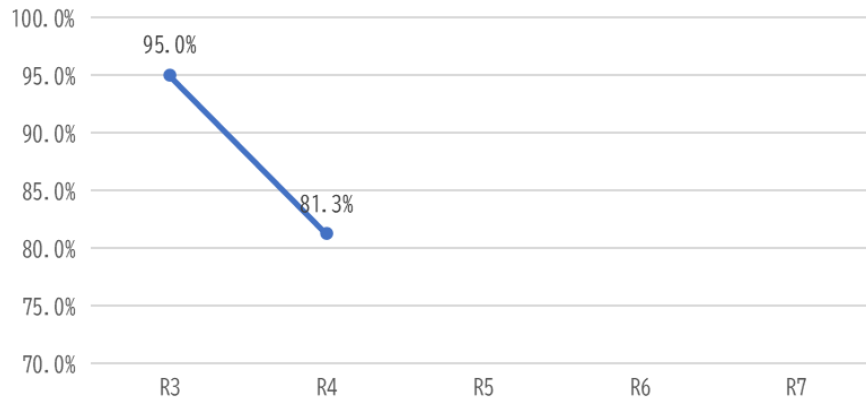
外で元気に遊んでいる様子は、これまでと同様に伺える。広沢小の一つの特徴ではないか。これは先生方が一緒になって遊んでいることがその要因としてもあげられると思う。今後、地域の方との交流や様々な行事の実施なども検討してみてはどうか。

【自己評価アンケート】



- A:よくあてはまる
- B:ほぼあてはまる
- C:あまりあてはまらない
- D:あてはまらない

【経年変化】



【5行要約】

- 広沢小のお子さんは外遊び等運動が大好きなお子さんがとても多いように感じます。
- 元気に外遊びをしている様子がうかがえること、体育が好きな子が多いから。
- 体育の時間も先生方の授業がとても楽しそうで、体育が嫌いというお子さんは少ないように思います。
- 外遊びが活発になるように地域の高齢者を休み時間に呼んではどうかとアイデアが出るほどでした
- 以前から言われているマラソン大会や中止になった縄跳び大会を行う等具体的な「運動」を示した方がわかりやすい

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	⑥学校は子供たちに、健康の保持増進や体力の向上に資する指導に努めている。	86.4% (2.6↑)
子供	体育の授業や外遊び等、体を動かすことは好きだ。	91.7% (2.4↑)
教職員	あなたは、児童生徒の体力を高めるため、体育の授業改善など意図的に向上策を講じている。	73.5% (2.3↑)

質問⑱：学校は、児童の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。
 (自己評価「B」 78.4%)

総合評価

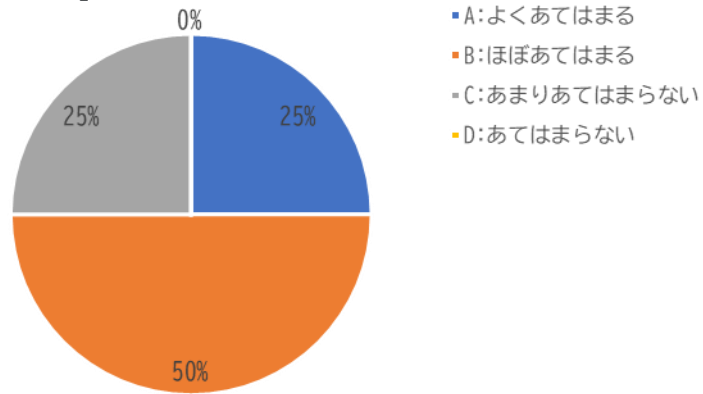
C

達成率
75.0%

【説明】

コロナの影響もあり、なかなか取組が難しい。昨年度に比べ少しずつその取り組みを進めているところもある。その様子を保護者・地域にわかるよう発信していくことも重要である。今後の取組や発信に期待したい。

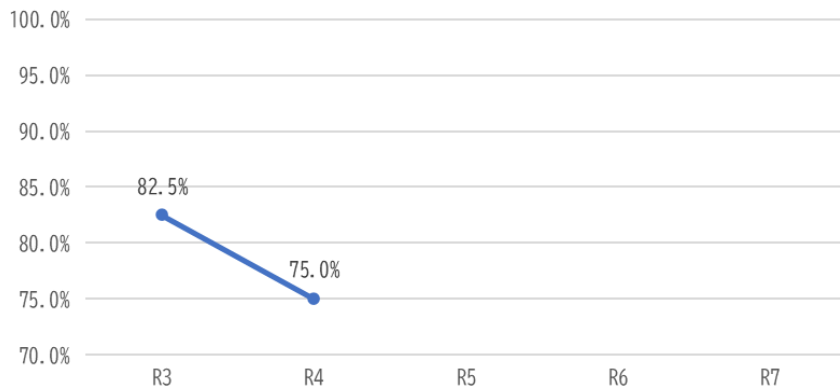
【自己評価アンケート】



【記述全文】

- コロナの影響もあり、体育集会 その他の具体的な取り組みがわからないから。
- ※質問17と同様の理由。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	⑥学校は子供たちに、健康の保持増進や体力の向上に資する指導に努めている。	86.4% (2.6↑)
子供	体育の授業や外遊び等、体を動かすことは好きだ。	91.7% (2.4↑)
教職員	あなたは、児童生徒の体力を高めるため、体育の授業改善など意図的に向上策を講じている。	73.5% (2.3↑)

質問⑱:学校は、普段から児童に食育や体の健康に関する指導を行っている。
(自己評価「B」 83.8%)

総合評価

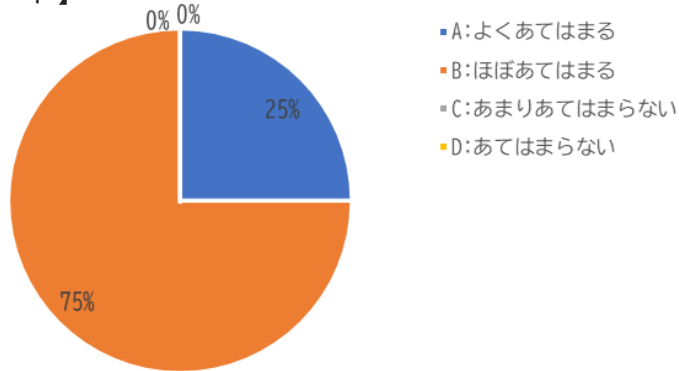
B

達成率
81.3%

【説明】

給食では、季節感のあるメニューなど、子供たちを職の面から支えている様子がうかがえる。また、体の健康についても、子供たちの意識が高いことから、学校としての取組が実を結んでいることが伺える。ポストコロナを念頭に、今後さらなる取組等ができることを期待する。

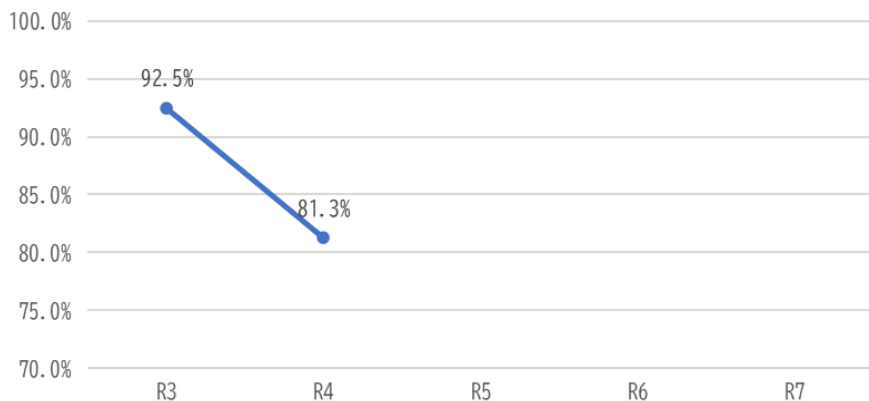
【自己評価アンケート】



【記述全文】

- 保護者のアンケート結果から
- 季節や行事に合わせたメニューなど熱心に取り組んでいる。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は子供たちに、健康の保持増進や体力の向上に資する指導に努めている。	86.4% (2.6↑)
子供	給食は残さないで食べる。	91.2% (1.5↑)
	毎日けがや病気に気をつけて、学校生活を送っている。	92.1% (0.2↑)
教職員	あなたは、普段から子供たちに食育や体の健康に関する指導を行っている。	76.3% (5.4↓)

質問⑳:学校は児童のよさを見つけ、児童を理解しようと努めている。 (自己評価「A」 92.6%)

総合評価

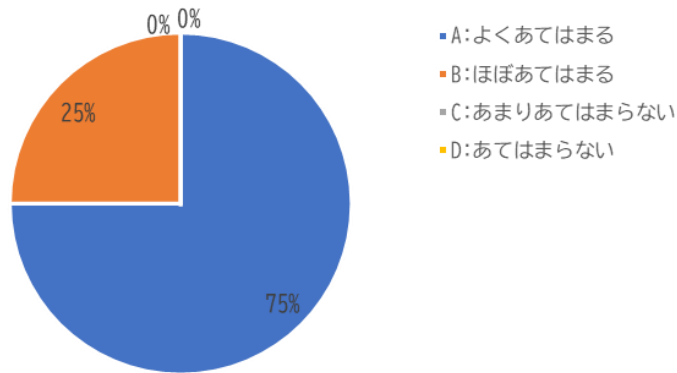
A

達成率
93.8%

【説明】

日頃からの教員と子供たちの関係性の良さが伺える。互いに尊敬しあう気持ちがとても大切である。いじめを許さず、子供たちを守るといふ思いと本質問の子供のよさを理解しようとする思いは、いずれも欠かせない思いであることから、引き続きその不断の努力に期待する。

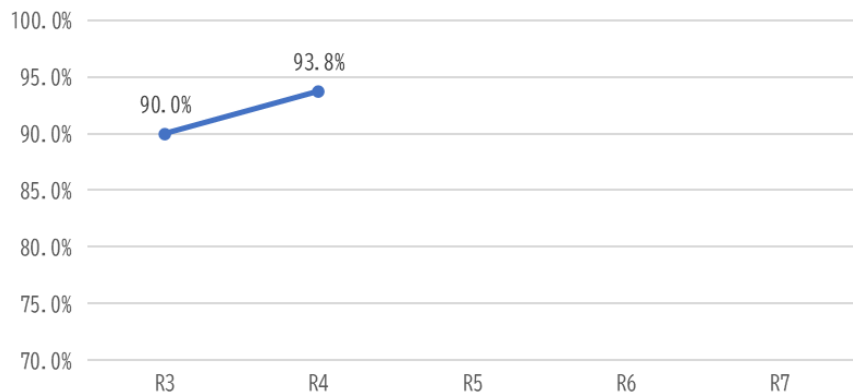
【自己評価アンケート】



【記述全文】

- 保護者のアンケート結果から、先生方の子どもへの接し方が素晴らしいのがわかるから。
- 子どもたちと話していると小学校の先生方が大好きな気持ち、尊敬している気持ちが伝わってきます。それはこの質問のような姿勢があつてこそだと思います。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は子供のよさを見つけ、子供を理解しようと努めている。	83.8% (0.0)
子供	⑫将来の夢を考えている。	81.7% (5.6↑)
	⑬自分にはよいところがある。	79.6% (3.6↓)
教職員	あなたは子供のよさを見つけ、子供を理解しようと努めている。	87.9% (2.1↓)

質問⑳: 学校は児童の現状をとらえ、新しい時代を生きる児童に必要な力の育成に努めている。 (自己評価「B」 85.8%)

総合評価

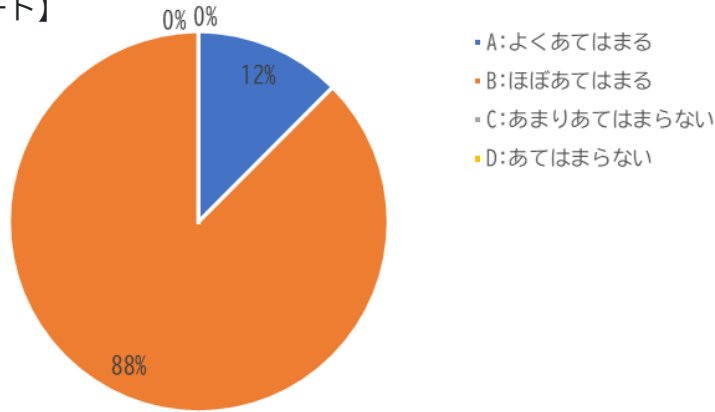
C

達成率
78.1%

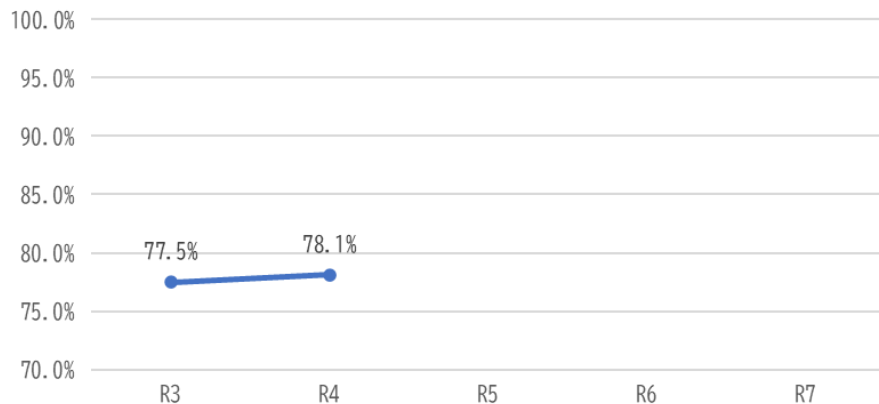
【説明】

アンケートの結果から、子供たちの様子が少しずつ良い方向に進んでいることが伺える。一方で、新しい時代を生きる児童に必要な力をどうとらえるかは難しく、熟議等を通じて保護者、地域と共通理解を図る必要もある。一緒に子供たちを育てていくことを念頭に、今後具体的な方策等検討したい。

【自己評価アンケート】



【経年変化】



【記述全文】

- 新しい時代をどう捉えるかの共通理解をした上で、実態から必要な力をつけることが見えてくると考える。
- 「新しい時代を生きる児童に必要な力」がどういうことか？そのための育成のしかたは？などを熟議や対話によりさらに具体的にしていってほしいと思います。

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は子供たちの現状をとらえ、新しい時代を生きる子供たちに必要な力の育成に努めている。	80.4% (0.7↑)
子供	初めてのことや新しいことなどにも積極的にチャレンジしている。	84.5% (5.7↑)
	難しいことでも、最後まで粘り強く取り組んでいる。	85.8% (6.2↑)
	他の人と自分の考えや意見がちがっても、いろいろと話をしながら相手の気持ちを考えて行動している。	87.6% (7.0↑)
教職員	あなたは子供たちの現状をとらえ、Society5.0の新しい時代を生きる子供たちに必要な力の育成に努めている。	73.8% (3.5↑)

